



# 国鉄千葉動力車労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.1.30 No.3530

# 2.8第2回労働学校集

二月八日(土)、一三時から、労働者福祉センターにおいて、労働千葉労働学校が開催されます。講師は、前回(一月三〇日)に引き続き、村上寛治さんから、「労働運動史―戦後労働運動の軌跡・その二」と題して講演をしていただく予定です。ひとりでも多くの参加をお願いします。

前回は、村上さんが西鹿児島で終戦を迎え、内心、新聞記者をやめようかと思つたこと、戦後、労働運動が、特定の人々(たとえば日本共産党など)から、広汎な大衆が参加して行われるようになり、その頃から自分の運命がどの様になり、汗を流して働く労働者のために新聞を作らなければならぬと痛感し、記者としての目で見えた労働運動の歴史を、エピソードや史実に出てこない話も含めて語ってもらいました。



村上寛治 (むらかみ かんじ)

1915年福岡県に生れる。41年朝日新聞入社。ソウル、ハルビン、長春各支局に勤務。45年東京本社社会部。同年9月から労働記者となり、以降労働ジャーナリストとして活動。現在は国鉄労組顧問

時あたかも、何が起つてもおかしくない時代と言われる現在。戦後労働運動の歴史を通して、われわれがこの先、いかに進べきかを真剣に学びとらなければなりません。ひとりでも多くの組合員が結集されることを訴えます。

労働千葉動力車労働学校第二回講座  
日時 一九九二年 二月 八日(土) 一三時から  
場所 千葉県労働者福祉センター 1F・研修室  
(千葉駅下車、徒歩一五分、京葉線千葉港から一〇分)  
内容 戦後労働運動史から学び、戦後労働運動の軌跡―その2  
講師 村上寛治氏 (国労顧問)

労働運動の歴史を真に学び、新たな労働運動の創造のために、われわれの進むべき道とは、その指針を示す！より多くの組合員を結集を訴える！

## 1/25~28 車両技術分科会 第3回定期委員会開催

車両技術分科会第三回定期委員会は、一月二五日・二六日の両日、館山市・民宿「伝平」において開催され、当面「九二・三ダイ改」「新検査方式」の導入阻止へ総力を上げて闘い抜く方針を決定した。

昨年五月一〇日に提案された「車両の新検査方式」については、現在行われている車両の検査体制を「古くさいもの」と全面的に否定し、機械化・コンピューター化することで、検修要員を極限的に削減しようとするものであり、「五万人体制」へ向けての中心軸をなす大合理化攻撃である。

車両技術分科会は、二日間におたり、あらゆる角度から問題点を掘り出して検討を重ね、さらに、「検修合理化対策委員会」を設置して、あらゆるデータの収集など闘いへの具体的体制を整えることを決定した。

全ての組合員の皆さんとりわけ検修職場で働く皆さん！検修合理化粉碎！「五万人体制」阻止へ全力で闘い抜こう。



「検修合理化対策委」を設置

「五万人体制」粉碎へ！